

令和3年度地域経済構造分析推進業務  
**地域別事業報告（栗原地域）**

株式会社帝国データバンク

# 0.事業概要

## 【目的】

宮城県全体および、地域ごとの観光産業における特色や課題等について情報を収集することを目的とし、「個人アンケート調査」「企業アンケート調査」「企業訪問ヒアリング」を実施。また、経済波及効果を推計し、宮城県において観光業が持続可能な地域経済の発展にどの程度寄与しているのか把握・分析を行う

## 【実施内容】

### ◆個人アンケート調査

調査対象：提携する調査会社が保有するモニターに登録している、宮城県内に居住する

15～79歳の男女42,084名

実施方法：WEBアンケート調査

回収数：2500件

### ◆企業アンケート調査

調査対象：宮城県内にある、TSA観光8分類に属する企業群2,277社（弊社保有データベースより抽出）

実施方法：郵送調査

回収数：608社/2,277社（回収率：26.7%）

### ◆企業訪問ヒアリング

調査対象：宮城県内にある、TSA観光8分類に属する企業群より売上高上位企業群から28社

実施方法：弊社調査員による訪問調査

### ◆経済波及効果の推定

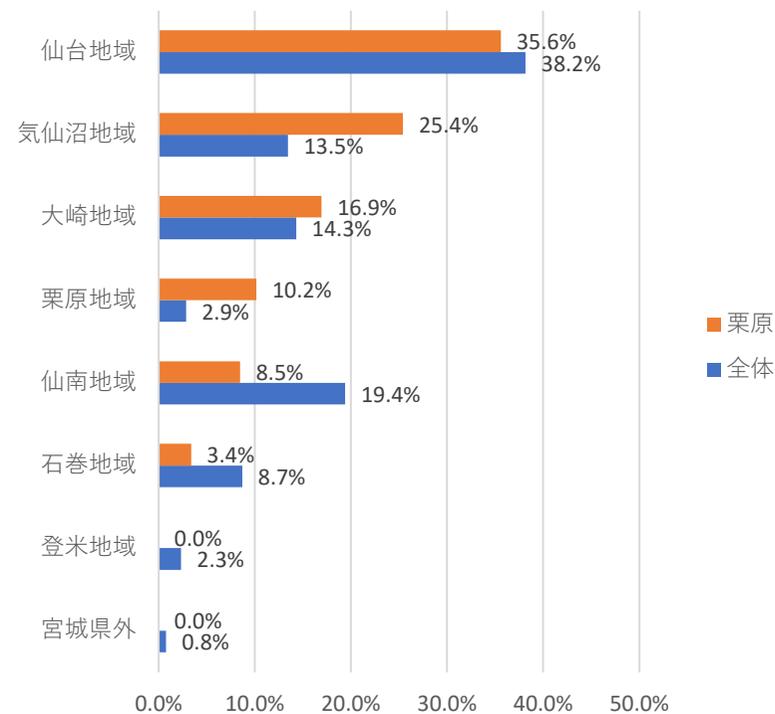
公的統計、個人アンケート調査、企業アンケート調査より数値を収集し、「観光経済波及効果簡易推計システム※」にて経済波及効果を推定

# 1.個人アンケート調査

栗原地域からの県内旅行の目的地

栗原地域

- 栗原地域からの県内旅行の目的地に関して、宮城県全体と比較すると、「気仙沼地域」が全体よりも10ポイント以上高かった。
- 一方、「仙南地域」や「石巻地域」は、全体よりも割合が低い。

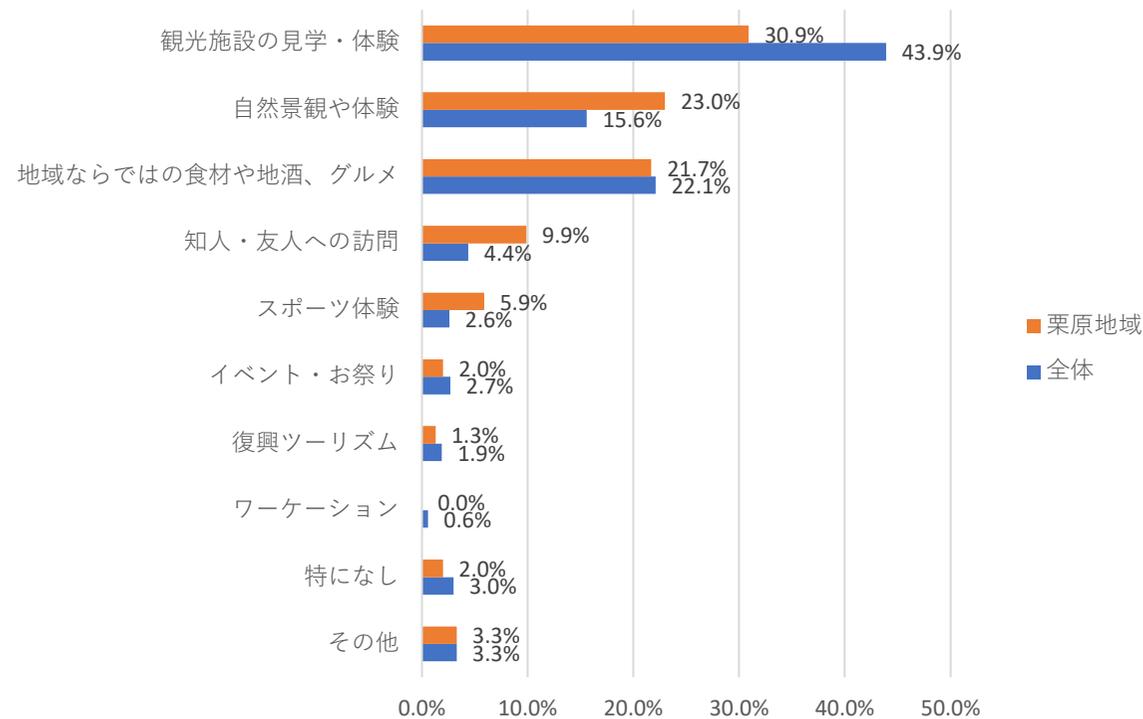


# 1.個人アンケート調査

## 栗原地域への旅行目的

栗原地域

- 栗原地域への旅行目的に関して、宮城県全体と比較すると、「観光施設の見学・体験」の割合が全体よりも10ポイント以上低かった。
- 一方「自然景観や体験」が全体より高かった。

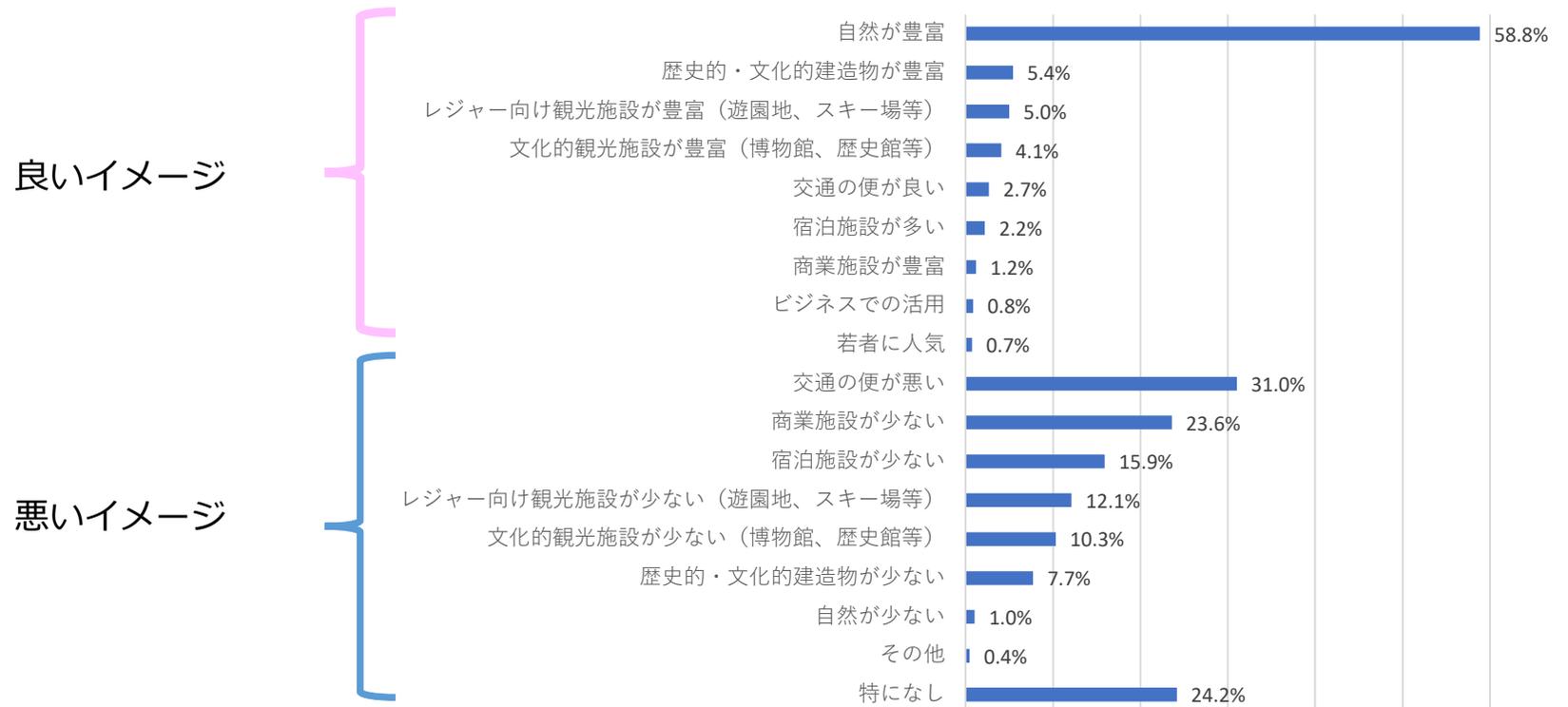


# 1.個人アンケート調査

栗原地域のイメージ

栗原地域

- 良いイメージとしては、「自然が豊富」が最も多く、58.8%となった。
- 悪いイメージとしては、「交通の便が悪い」31.0%、「商業施設が少ない」が23.6%となった。

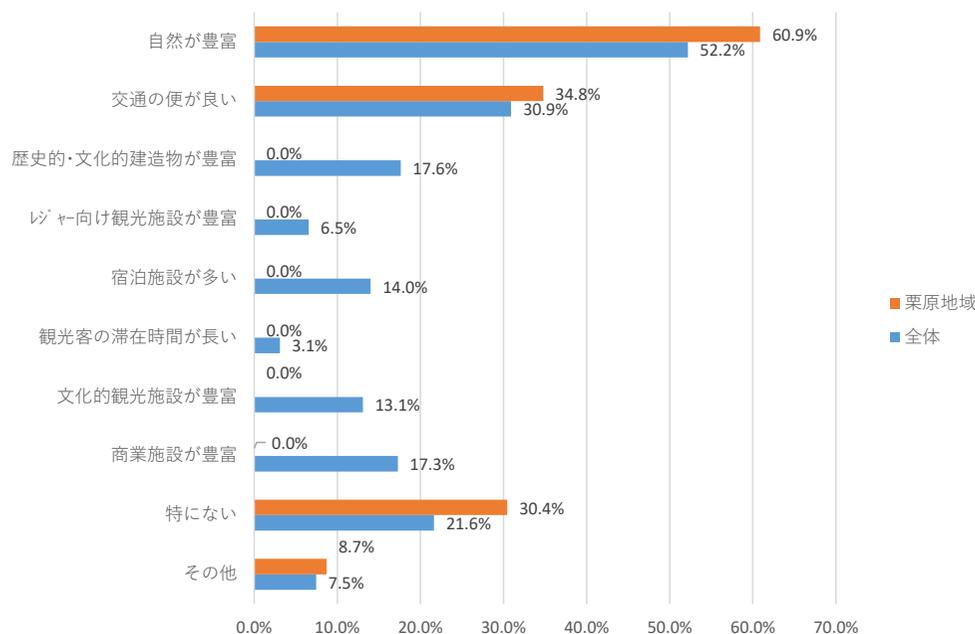


## 2. 企業アンケート調査 & 企業訪問ヒアリング

栗原地域の強み

栗原地域

- 地域における強みについて、宮城県全体と比較すると、「自然が豊富」「交通の便が良い」が全体よりも若干高かった。
- 一方「レジャー向け観光施設が豊富」「宿泊施設が多い」「観光客の滞在時間が長い」「文化的観光施設が豊富」「商業施設が豊富」の回答はなかった。



### <企業の声>

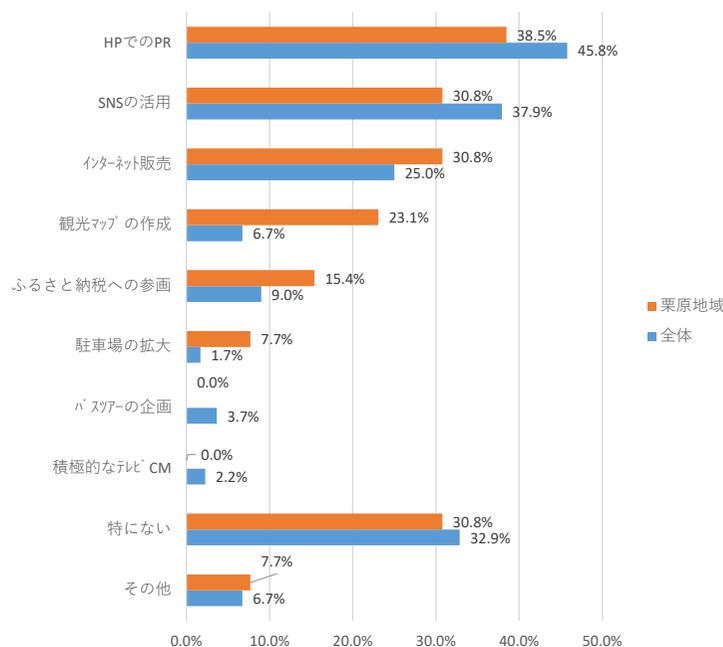
- 伊豆沼地区においては、ガンを中心とした野鳥の観測を出来る場所が豊富で、バードウォッチングを目的とした観光客が多い。夏から秋にかけては、栗駒山での紅葉を目的とした登山客の集客に強みがある。（宿泊サービス）
- 東北自動車道 築館IC、若柳金成IC、東北新幹線、くりこま高原駅。（飲食サービス）

## 2.企業アンケート調査&企業訪問ヒアリング

観光客増加のために現在行っていること

栗原地域

- 観光客増加のために現在行っていることについて、宮城県全体と比較すると、「HPでのPR」と「SNSの利用」と回答した割合が全体よりも低かった。
- 一方「観光マップの作成」は全体よりも10ポイント以上高かった。



### <企業の声>

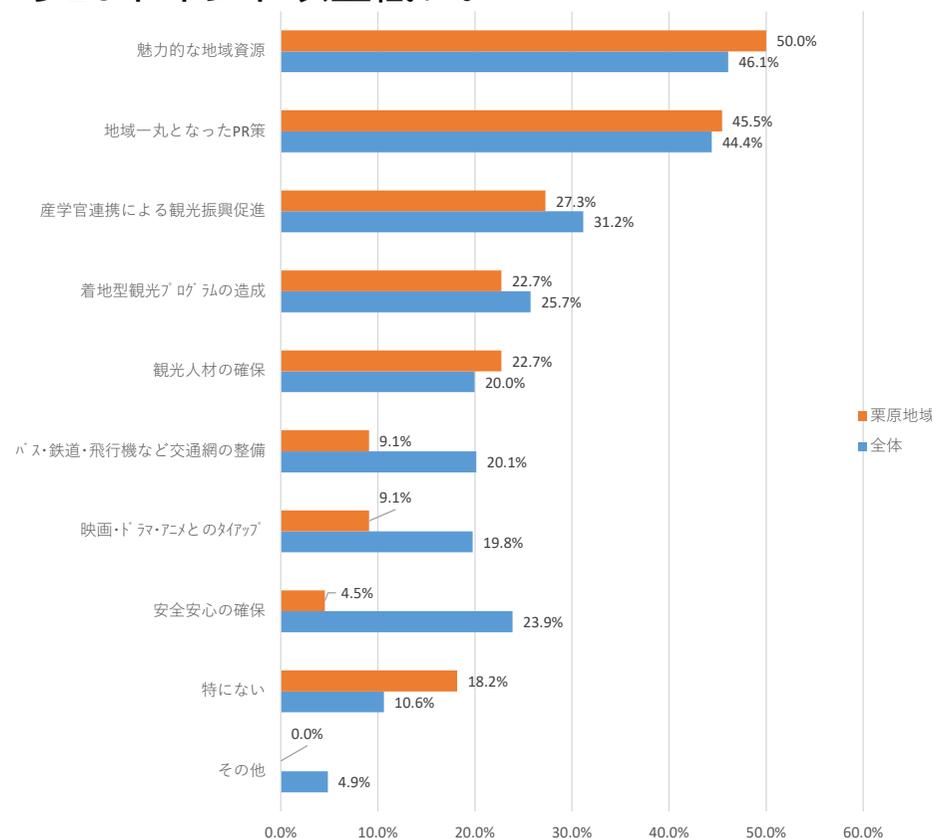
- 地域内の企業が連携して町おこしのようなものは行っていると聞かれる。米をはじめとした、地元食材を活かしたPRなどを今後は強化していく予定。(宿泊サービス)
- 地域としては、地元食材などを利用した商品開発を行っており、同企画・ツアーでの販売促進をしている。(宿泊サービス)

## 2. 企業アンケート調査 & 企業訪問ヒアリング

観光客増加を進めるために必要と思う点

栗原地域

- 観光客増加を進めるために必要と思う点について、宮城県全体と比較すると、「バス・鉄道・飛行機など交通網の整備」「映画・ドラマ・アニメとのタイアップ」「安全安心の確保」は全体より10ポイント以上低い。



### <企業の声>

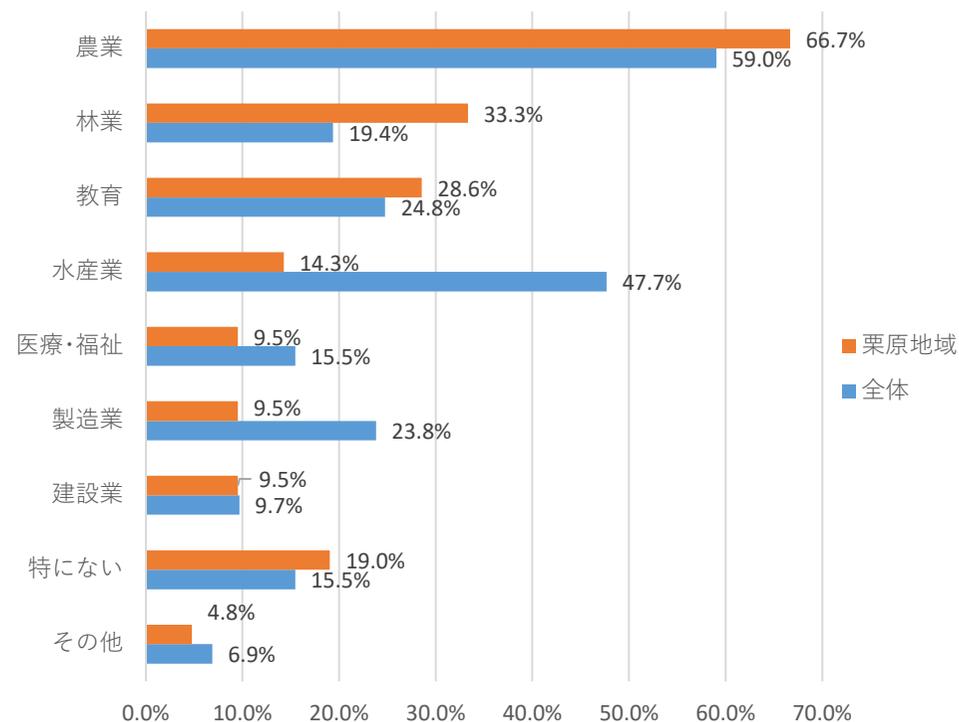
- 観光資源が少なく、観光客の滞在時間が短く、地元に落とすお金が少ない。宿泊施設が少ない。(小売)
- 全国的な知名度の低さが課題と言える。地域全体としてPR不足と感じる。(宿泊サービス)

## 2. 企業アンケート調査&企業訪問ヒアリング

他産業との連携について

栗原地域

- 他産業との連携について、宮城県全体と比較すると「水産業」と回答した割合が30ポイント以上低く、「農業」「林業」が高い。



# 3. 経済波及効果の推定結果

## 経済波及効果の推定結果

栗原地域

項目	宮城県	仙南	仙台	大崎
経済波及効果 (A+B+D+C)	1,780.01億円	115.02億円	1,454.37億円	170.57億円
A観光消費額	1,012.41億円	83.05億円	733.83億円	107.80億円
B生産誘発効果	624.43億円	25.26億円	638.27億円	53.02億円
C家計迂回効果 (消費によるもの)	90.46億円	5.11億円	44.58億円	6.47億円
D家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	52.72億円	1.60億円	37.69億円	3.28億円
付加価値効果	561.77億円	31.90億円	460.51億円	47.70億円
雇用効果	12,101人	752人	12,083人	1,110人
項目	栗原	登米	石巻	気仙沼
経済波及効果 (A+B+D+C)	25.27億円	58.42億円	110.99億円	75.71億円
A観光消費額	20.02億円	37.74億円	57.78億円	46.28億円
B生産誘発効果	4.50億円	17.18億円	41.73億円	22.86億円
C家計迂回効果 (消費によるもの)	0.61億円	2.17億円	6.50億円	4.38億円
D家計迂回効果 (生産誘発効果によるもの)	0.15億円	1.32億円	4.98億円	2.18億円
付加価値効果	5.82億円	14.36億円	33.01億円	22.94億円
雇用効果	112人	350人	745人	579人

